特別展柳橋水車図の世界

Golden Dreams: Exploring Willow Bridge and Waterwheel

2021年10月2日(土)~11月21日(日)

※期間中展示替えがあります



水の都に現れる、美しき古の架け橋

屏風一双の大画面に、金色の橋と柳を中心に水車、蛇籠などを描く柳橋水車図屏風は、金・銀を多用した装飾性や、屏風を開くと金色の大きな橋が斜めに架け渡る趣向が喜ばれたらしく、17世紀初めの流行が確認できます。現在でも、30例以上の作品が存在します。

香雪美術館が所蔵する「柳橋水車図屏風」は、数ある柳橋水車図のなかでも優品として知られています。 また、各隻に「等伯」の朱文方印が捺される本図は、この大胆な構図の屏風が成立するにあたって長谷川派が深く関わったことを示す重要な作品でもあります。

この作品を深く理解することを目的として企画した本展では、これまで当然のように解説してきた「銀の波」が本当に銀であるのかを確認するために、蛍光エックス線分析と修理報告における顕微鏡写真の再検討を行いました。その結果、「月」は胡粉盛り上げに銀箔、「波」は銀泥と銀の截金による表現であることが判明しました。本作は、周到に練られた構想のもと完成した極めて工芸品に近い絵画作品といえ、そのことが制作当時の受容層はもちろん、現在にいたるまで、人々にわかりやすく愛される要因となっているのでしょう。

本展では、柳橋水車図屏風とともに、柳橋水車図に繋がるさまざまな作品を取り上げています。この機会に、「柳橋水車図の世界」を深く知っていただければ幸いです。

Nakanoshima Kosetsu Museum of Art

I 浄土への橋

永承7年(1052)、藤原頼蓪(992~1074)は父道長が求めた宇治の別荘に平等院を開創。 翌年には阿弥陀堂を建立して、この地に極楽浄土の世界を再現しました。宇治橋を渡った西岸には 平等院があり、橋は人々を極楽浄土の世界へといざないます。

「宇治」にかかわる作品を紹介する前に、ここではプロローグとして、人々が思いをはせた極楽 浄土の世界を見ていただきます。

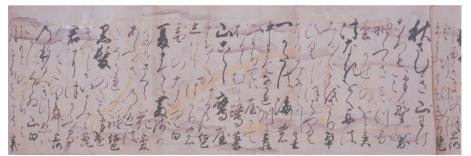
Ⅱ 料紙装飾と柳橋水車

料紙とは、書をしたためるための紙を指します。染紙や打紙、中国から舶載された蠟機紙、金銀や雲母などを用いて美しく装飾された料紙などが知られています。

鎌倉時代から室町時代にかけては、金銀泥や彩色によって景物画を下絵として描いた装飾料紙が発展します。ここでは、14世紀から16世紀の宸翰や連歌懐紙に用いられた料紙と、柳橋水車図屏風と同時代性をもつ「稲富流鉄砲伝書」(写真③)・「源氏物語手鑑」の料紙から、柳や橋、水車、柴舟など柳橋水車図に繋がる図様が描かれた金銀泥下絵を紹介し、柳橋水車図屏風との関係を考えます。



① 重要文化財 伏見天皇宸翰 源氏物語抜書 鎌倉~南北朝時代 国立歴史民俗博物館 前期:10/2~10/24



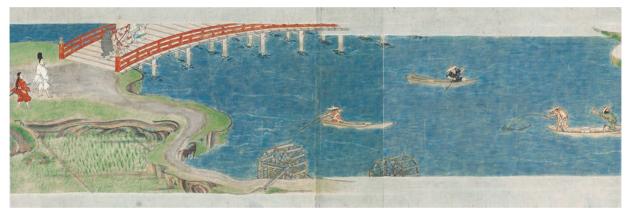
② 重要文化財 大原野千句連歌懐紙 第五 室町時代 京都 勝持寺 後期:10/26~11/21



③ 稲富流鉄砲伝書 慶長 17 年 (1612) 奥書 大和文華館 後期: $10/26 \sim 11/21$

Ⅲ 橋の神秘-物語と実景のはざま

異界や神域への懸け橋として、橋は神秋的なイメージを纏っています。また、橋を架けるには相当な苦難を伴なうことから、架橋にまつわる神仏や高僧による霊験譚が今に語り継がれています。瀬田橋と山崎橋と共に日本三古橋に数えられる宇治橋は、由来を記した石碑「宇治橋断碑」によれば七世紀には架けられていました。平等院を望む宇治の景を和歌にちなんで描く名所絵や、瀬田橋で落とした、上皇の命を記した文書・院萱が宇治橋のほとりで見つかる場面を描く「石山寺縁起絵巻巻五」は、いずれも左側が上流で、東岸(左)から右斜め上に宇治橋が架かり、西岸(右)には平等院や宇治の町が描かれます。こうした名所絵や縁起絵と同様、「橋姫伝説」や『源氏物語』宇治十帖など、宇治を舞台とした文学は、宇治を象徴するモティーフや実景をとりこみながら絵画化されています。



④ 重要文化財 石山寺縁起絵巻巻五(宇治橋) 南北朝時代末~室町時代初期 石山寺後期:10/26~11/21



⑤ 扇面画帖のうち 山水図(宇治) 室町時代 奈良国立博物館 後期:10/26~11/21



⑤ 重要文化財 土佐光吉 源氏物語手鑑 総角-慶長 17 年 (1612) 和泉市久保惣記念美術館 後期 2 週間: 10/26~11/7

Nakanoshima Kosetsu Museum of Art

IV 柳橋水車図屏風の成立

柳橋水車図屏風は、豊国神社所蔵の狩野内膳 (1570~1616) 筆「豊国祭礼図屏風」の画中画で確認され、17世紀初めの流行が知られます。30例以上の作品が現存しており人気のほどが窺えます。

香雪美術館が所蔵する「柳橋水車図屏風」はなかでも優れた作例です。本章では、同作品の修理報告および再調査の結果、新たに得られた知見一銀の截金と銀泥による波の表現ーを紹介し、この大胆で完璧な構図と作品構成の謎に迫りつつ、長谷川等伯(1539~1610)の関連作品と柳橋水車図屏風のバリエーションを見ていただきます。



 重要美術品 長谷川等伯 柳橋水車図屏風 (左隻) 桃山時代 香雪美術館



(右隻



图 長谷川等伯 四季柳図屏風 (右隻) 桃山時代 個人蔵

桃山時代 個人蔵 後期:10/26~11/21

V 柳橋水車図の展開

柳橋水車図は、屏風形式による図像のモティーフとその配置がほとんど変わることなく、繰り返し制作され拡散したことで、桃山時代以降ひとつの定型イメージとして定着していきました。

緩やかな弧を描く橋が画面を横切る大胆な構図、車輪と桶の円で構成された水車や、竹を六角形の格子に編んだ蛇籠のように、同一図形を繰り返す造形感覚、柳の葉や波のように、同一単位を連続させる描写は、漆工や染織などの工芸品と親近性があることから、柳橋水車図は工芸品の図案としても、しばしば用いられました。柳・橋・水車などの限られた題材により、源氏物語の舞台としての宇治、名所としての宇治のイメージを想起しやすいことも、その要因と思われます。

本章では、柳橋水車図を主題とした工芸品、および柳橋水車図と共通する意匠が表された工芸品を集め、その展開を概観します。



9 伝 道本 宇治橋蒔絵小鼓胴 銘 宇治橋 江戸時代 京都国立博物館



10 柳橋蒔絵小箱 江戸時代 香雪美術館



[1] 野々村仁清 色絵柳橋図水指 江戸時代 湯木美術館 ※この画像はWeb・SNS 掲載はできません

作品画像貸出一覧

























- ① 重要文化財 优見天皇宸翰源氏物語抜書 鎌倉~南北朝時代 国立歴史民俗博物館 前期:10/2~10/24
- ② 重要文化財 大原野千句連歌懐紙 第五 室町時代 京都 勝持寺 後期:10/26 ~ 11/21
- ③ 福富流鉄砲伝書 慶長17年(1612) 奥書 大和文華館 後期:10/26~11/21
- ④ 重要文化財 石山寺縁起絵巻 巻五 南北朝時代末〜室町時代初期 石山寺 〈場面替え〉宇治橋:後期:10/26 ~ 11/21
- | 5 扇面画帖 山水図 (字治) | 室町時代 | 奈良国立博物館 | 後期:10/26 ~ 11/21
- 6 重要文化財 土佐光吉 源氏物語手鑑 総角一 慶長17年(1612) 和泉市久保惣記念美術館後期2週間:10/26~11/7
- ② 重要美術品 長谷川等伯 柳橋水車図屏風 桃山時代 香雪美術館
- 图長谷川等伯 四季柳図屏風(右隻) 桃山時代 個人蔵 後期:10/26~11/21
- ⑨伝道本 宇治橋蒔絵小鼓胴 銘 宇治橋 江戸時代 京都国立博物館
- ⑩柳橋蒔絵小箱 江戸時代 香雪美術館
- の の th Cheth いろえ りゅうきょう ず みず さし 111野々村仁清 色絵柳橋図水指 江戸時代 湯木美術館 ※この画像はWeb·SNS掲載はできません

Nakanoshima Kosetsu Museum of Art

開催概要

会 期 2021 年 10 月 2 日 (土) ~ 11 月 21 日 (日)

展示替え 前期:10月2日(土)~10月24日(日)

後期:10月26日(火)~11月21日(日)

休 館 日 月曜日(祝日の場合は翌火曜日)

開館時間 10時~17時(入館は16時30分まで)

夜間特別開館 2021 年 10 月 21 日 (木)、10 月 28 日 (木)、11 月 11 日 (木)

~ 19時30分(入館は19時まで)

料 金 一般 1.100 (900) 円、高大生 700 (500) 円、小中生 400 (200) 円

*()内は前売り(一般のみ)、20名以上の団体料金

*前売り券は香雪美術館(御影本館)、中之島香雪美術館、 フェスティバルホール・チケットセンターで販売しています

主 催 公益財団法人 香雪美術館、朝日新聞社

会 場 中之島香雪美術館

530-0005 大阪市北区中之島 3-2-4 中之島 フェスティバル タワー・ウエスト 4 階 TRN 06 6010 0766 PAY 06 6010 4100

TEL 06-6210-3766 FAX 06-6210-4190

https://www.kosetsu-museum.or.jp/nakanoshima/

Twitter@kosetsu museum

アクセス Osaka Metro 四つ橋線「肥後橋」駅 4号出口、京阪中之島線「渡辺橋」駅 12号出口直結 Osaka Metro 御堂筋線・京阪本線「淀屋橋」駅 7号出口より徒歩約8分

IR「大阪」駅桜橋口より徒歩約 15 分

JR 東西線「北新地」駅 11-5 出口より徒歩約8分

講演会 「柳橋水車図をめぐる旅」

講師: 鷲頭 桂さん (九州国立博物館 主任学芸員)

【日 時】 2021年10月30日(土) 14時~15時30分(受付開始13時30分)

【会 場】 中之島会館(中之島香雪美術館隣)

【参加料】 500円(展覧会観覧ご希望の方は、別途入館券をご購入ください)

【 定 員 】 120 名 (予定)

【応募開始】 8月21日(土)

【応募方法】 1通で2名様まで応募可能。参加人数、それぞれの住所、氏名、年齢、電話番号を明記ください。

メール 以下アドレス宛にお申し込みください。詳細を返信します。

E-mail: n-kouenkai@kosetsu-museum.or.jp (※左記アドレスを受信可能に設定してください)

(全復ハガキ) 郵送でご応募ください。返信ハガキの宛先には、代表者の住所氏名をご記入ください。 返信ハガキで参加証を郵送します。

【宛先】〒530-0005 大阪市北区中之島 3-2-4 中之島フェスティバルタワー・ウエスト 4 階中之島香雪美術館「柳橋水車図」展 講演会係

FAX: 06-6210-4190

/ बाद कर े

取材·写真使用申込書

中之島香雪美術館

Nakanoshima Kosetsu Museum of Art

		(四百)	7	/1	Ц
取材について					
取 材 者	フリガナ	 フリガナ			
	会社名	担当者名(連絡者	ž)		
	住所 〒	TEL			
		FAX			
	E-mail		取材人数		名
取材希望日時	(西曆) 年 月 日	時	分 ~	時	分
	種別 □テレビ □ラジオ □新聞	□雑誌 □その他()
媒体	番組名・コーナー名				
放送·発行日等	(西暦) 年 月 日	時	分 ~	時	分
取材の範囲	□する (撮影機材 □スチール [撮影 □しない	□ENG □DVC)			
備 考 特に取材したい場所・内容等					
写真使用について	プレス用写真一覧をご確認の上、希望画像番号をご明	月記ください。			
作 品 画 像		中之島香雪美術館館 内 画 像			
注 意 事 項	・企画書など概要がわかる書類の提出をおい ・原稿および記事については貴メディアへお送りくださいますようお願いいたしまい ・掲載後は掲載誌等の送付をお願いしておい ・画像の名称(作品名)、指定、展示期間 ・サイズは、(web 掲載用) 長辺 1000px ・ウェブ掲載の場合、掲載期間を最長6ヶ それ以上の期間掲載をご希望の方は、事	御掲載前に中之島香雪ます。います。、所蔵元、クレジット100dpi (紙媒体用)・月とし、その後は削り	(ある場合)を 長辺 1000px :	記載してく 300dpi ま	ださい。

報道関係のお問い合わせ -